

防災対策の強化について

総務課危機管理室

本年6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、9月の北海道胆振東部地震、先日の台風24号の暴風など全国各地で災害が頻発しており、甚大な被害をもたらしております。

このようなことから、本市におきましては、更に大規模災害に対応するため防災対策を次のように計画しております。

平成30年度

(1) 市11月補正予算

- ・公衆無線LAN整備（拠点避難所：市民体育館、一時集結場所：笠間市総合公園、避難所：岩間海洋センター）

(2) 原子力資機材として県から貸与

- ・発電機（インバーター2800w）16基配備、投光器（LEDバルーン）16基配備（原子力災害一時集合場所8カ所）

(3) 原子力地域振興事業補助活用

- ・防災倉庫3カ所設置（笠間中学校、大原小学校、憩いの家はなさか）

(4) 市事業、ソフト対策

- ・業務継続計画（BCP）の策定

平成31年度以降

(1) 市予算

- ・防災行政無線デジタル化基本設計及び整備工事
- ・公衆無線LAN整備（拠点避難所を含む全小中学校）
- ・ソーラー発電街路灯整備（拠点避難所：稲田中学校、友部小学校）
（笠間小学校、友部中学校、岩間中学校は、ソーラー発電街路灯整備済）

(2) 原子力資機材として県から貸与

- ・現場用エアータント（6m×6m）8基配備（原子力災害一時集合場所8カ所）
- ・トランシーバー デジタル5w12台、特定小電力30台配備（一時集合場所8カ所、災害対策本部）

(3) 原子力地域振興事業補助活用

- ・防災倉庫6カ所設置（増設）（拠点避難所：笠間小学校、稲田中学校、市民体育館、友部中学校、友部小学校、岩間中学校）
- ・備蓄資材の更新及び新規購入（食料品、水、毛布等）
- ・大型防災倉庫1カ所設置（旧箱田小学校）